

# 琉球大学学術リポジトリ

## 琉球大学教育学部新入生合宿研修の実施の準備と結果について — 2009年の実施結果とアンケート集計 —

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学教育学部附属教育実践総合センター 公開日: 2011-04-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 仲間, 正浩, 上間, 陽子, 西岡, 尚也, 片岡, 淳, Nakama, Masahiro, Uema, Yoko, Kataoka, Jyun, Nishioka, Naoya メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/19043">http://hdl.handle.net/20.500.12000/19043</a>

# 琉球大学教育学部新入生合宿研修の実施の準備と結果について

## —2009年の実施結果とアンケート集計—

仲間 正浩\* 上間 陽子\* 片岡 淳\* 西岡 尚也\*

### New Students Oriengation Camp for Faculty of Education in Ryukyu University —In case of 2009—

Masahiro Nakama\* Yoko Uema\* Jyun Kataoka\* Naoya Nishioka\*

#### 1. これまでの合宿研修の概要

琉球大学教育学部の合宿研修の始まりは琉球大学首里キャンパス時代に遡る。首里キャンパス時代の琉球大学にはプールが無かったため、水泳の授業は与那原の海岸に出かけての実習であった。その後、水泳の実習は離島における合宿研修として実施されるようになった。小学校の教員採用試験で、プールで25メートル以上泳げることが採用の条件になった頃、琉球大学教育学部の合宿研修においては、遠泳の実習を実施した。これは、多くの学生が遠泳を達成することによって感動するという普段の授業では体験できないことを経験する機会になっていた。その後、その合宿研修にキャンプファイアーや演芸大会の要素が持ち込まれることもあったが、学生がその準備にエネルギーをかけすぎ、授業に支障が出ると批判されることもあった。次いで、離島において、三線やエイサー、工芸等の伝統文化を学生と地域の人とで学び合い、交流する地域文化交流実習の形態での合宿研修が並行して行われるようになった。この形式の合宿研修もまた、普段の授業では経験できないような経験を得る絶好の機会であった。ここまでの進展において、琉球大学教育学部の合宿研修は、通常の講義では体験できない貴重な経験を得る

機会を学生に提供してきたが、この研修が、主に一部の学科の教員に多大な負担を強いていた点や、参加する学生が少なくなり学生に対する教育的な意義に対する疑問などから、一旦、別の形式での合宿研修として再実施する試みを行うことが決定された。

#### 2. 新しい合宿研修に課せられた課題

琉球大学教育学部における新しい合宿研修に課せられた課題は、

課題1. 合宿研修を実施する教員に過度な負担が生じないようにする

課題2. 学生の参加人数の増加

課題3. 教育学部の合宿として十分な意義があること

である。上記の課題を達成するために、新しい合宿研修では、教育学部学生生活委員会の中に合宿研修ワーキンググループを組織し、そのメンバーを毎年代えていくことで同じ教員に負担がかからないような運営がなされるようになった。以下に、3回行ってきた新しい合宿研修の結果を概説する。

表1に最近3回の教育学部新入生合宿研修のプログラム、スケジュール、役割分担、時間配分を示す。

\* 琉球大学教育学部

2007年4月21日、22日 渡嘉敷青少年自然の家		2008年5月17日、18日 県立糸満青年の家		2009年5月29日、30日、糸満青年の家	
一日目	二日目	一日目	二日目	一日目	二日目
参加学生146人	参加学生169名(86%)	参加学生169名(86%)	参加学生169名(86%)	参加学生169名(86%)	参加学生169名(86%)
活動内容	活動内容	活動内容	活動内容	活動内容	活動内容
6:30 起床・洗面	6:30 起床・洗面	6:30 起床・洗面	6:30 起床・洗面	6:30 起床・洗面	6:30 起床・洗面
7:00 朝の集い・部屋清掃	7:00 朝の集い・部屋清掃	7:00 朝の集い・部屋清掃	7:00 朝の集い・部屋清掃	7:00 朝の集い・部屋清掃	7:00 朝の集い・部屋清掃
7:30 館内清掃	7:30 館内清掃	7:30 館内清掃	7:30 館内清掃	7:30 館内清掃	7:30 館内清掃
8:00 朝食	8:00 朝食	8:00 朝食	8:00 朝食	8:00 朝食	8:00 朝食
8:30 フェリー乗船	8:30 集合、点呼、青年の家	8:30 朝食	8:30 朝食	8:30 朝食	8:30 朝食
9:30 泊港発	9:30 集合、点呼、青年の家	9:30 朝食	9:30 朝食	9:30 朝食	9:30 朝食
10:00 泊港発	9:30 入所式	9:30 フェークション(2時間)	9:30 フェークション(2時間)	9:30 フェークション(2時間)	9:30 フェークション(2時間)
10:30 入所式	10:00 アイスブレーキング・ゲーム(1時間30分)	10:00 アイスブレーキング・ゲーム(1時間30分)	10:00 アイスブレーキング・ゲーム(1時間30分)	10:00 アイスブレーキング・ゲーム(1時間30分)	10:00 アイスブレーキング・ゲーム(1時間30分)
11:00 入所式	10:30 チェクインニング、レクリエーション(3時間)	10:30 チェクインニング、レクリエーション(3時間)	10:30 チェクインニング、レクリエーション(3時間)	10:30 チェクインニング、レクリエーション(3時間)	10:30 チェクインニング、レクリエーション(3時間)
11:30 入所式	11:00 エンヤン(3時間)	11:00 エンヤン(3時間)	11:00 エンヤン(3時間)	11:00 エンヤン(3時間)	11:00 エンヤン(3時間)
12:00 昼食、自己紹介	11:30 昼食	11:30 昼食	11:30 昼食	11:30 昼食	11:30 昼食
12:30 昼食、自己紹介	12:00 昼食	12:00 昼食	12:00 昼食	12:00 昼食	12:00 昼食
13:00 昼食、自己紹介	12:30 昼食	12:30 昼食	12:30 昼食	12:30 昼食	12:30 昼食
13:30 フェークション(1時間30分)	13:00 成果発表・閉会式	13:00 成果発表・閉会式	13:00 成果発表・閉会式	13:00 成果発表・閉会式	13:00 成果発表・閉会式
14:00 休憩	13:30 バス移動、点呼、フェリー乗船渡嘉敷港発、泊港着、点呼	13:30 バス移動、点呼、フェリー乗船渡嘉敷港発、泊港着、点呼	13:30 バス移動、点呼、フェリー乗船渡嘉敷港発、泊港着、点呼	13:30 バス移動、点呼、フェリー乗船渡嘉敷港発、泊港着、点呼	13:30 バス移動、点呼、フェリー乗船渡嘉敷港発、泊港着、点呼
14:30 休憩	14:00 泊港着、点呼	14:00 泊港着、点呼	14:00 泊港着、点呼	14:00 泊港着、点呼	14:00 泊港着、点呼
15:00 フェークション2(1時間30分)	14:30 フェークション(3時間)	14:30 フェークション(3時間)	14:30 フェークション(3時間)	14:30 フェークション(3時間)	14:30 フェークション(3時間)
15:30 フェークション2(1時間30分)	15:00 フェークション(3時間)	15:00 フェークション(3時間)	15:00 フェークション(3時間)	15:00 フェークション(3時間)	15:00 フェークション(3時間)
16:00 タベのつどい	15:30 閉会式	15:30 閉会式	15:30 閉会式	15:30 閉会式	15:30 閉会式
16:30 タベのつどい	16:00 施設内清掃	16:00 施設内清掃	16:00 施設内清掃	16:00 施設内清掃	16:00 施設内清掃
17:00 夕食と入浴	16:30 野外炊飯、後片付け	16:30 野外炊飯、後片付け	16:30 野外炊飯、後片付け	16:30 野外炊飯、後片付け	16:30 野外炊飯、後片付け
17:30 夕食と入浴	17:00 後片付け	17:00 後片付け	17:00 後片付け	17:00 後片付け	17:00 後片付け
18:00 夕食と入浴	18:00 後片付け	18:00 後片付け	18:00 後片付け	18:00 後片付け	18:00 後片付け
18:30 夕食と入浴	18:30 後片付け	18:30 後片付け	18:30 後片付け	18:30 後片付け	18:30 後片付け
19:00 フェークション(1時間)	19:00 後片付け	19:00 後片付け	19:00 後片付け	19:00 後片付け	19:00 後片付け
19:30 フェークション(1時間)	19:30 後片付け	19:30 後片付け	19:30 後片付け	19:30 後片付け	19:30 後片付け
20:00 ポスター掲示・採点	20:00 就寝	20:00 就寝	20:00 就寝	20:00 就寝	20:00 就寝
20:30 夕食と入浴	20:30 就寝	20:30 就寝	20:30 就寝	20:30 就寝	20:30 就寝
21:00 夕食と入浴	21:00 就寝	21:00 就寝	21:00 就寝	21:00 就寝	21:00 就寝
21:30 夕食と入浴	21:30 就寝	21:30 就寝	21:30 就寝	21:30 就寝	21:30 就寝
22:00 夕食と入浴	22:00 就寝	22:00 就寝	22:00 就寝	22:00 就寝	22:00 就寝
22:30 夕食と入浴	22:30 就寝	22:30 就寝	22:30 就寝	22:30 就寝	22:30 就寝
23:00 夕食と入浴	23:00 就寝	23:00 就寝	23:00 就寝	23:00 就寝	23:00 就寝

表1 最近3回の新入生合宿研修の内容、スケジュール、時間配分、役割分担

### 3. 新しい合宿研修第1回目の試行

第一回目の試行での合宿研修は、2007年4月21日22日に渡嘉敷青少年自然の家にて本番を行った。そのプログラムの内容を表1に示す。

この合宿研修では、その目的を、

- ① 専修・コースを超えた学生間の交流（仲間づくり）を行う。
- ② 教育学部学生として「教育」に対する理解と思いを深める。

として実施することになった。また、参加の対象を新入生と、新入生の指導教官とし、新入生オリエンテーションとしての位置づけを行った。研修の内容としては、問題解決型ワークショップを主に行った。ワークショップのテーマは「教育とは」。教育学部に入学したばかりの学生と一年次の指導教員たちが一緒になって「教育について」熱く語り合った。このワークショップの試みでは一年次の指導教官が、学生たちから多くの話題を引き出すファシリテーター役を務めた。このワークショップを行うことによって教育学部学生としての動機を強くし、お互いが教育について熱く考えていることが確認できた。この合宿は希望者のみの任意参加であったが、琉球大学教育学部新入生の約70%が参加し、事後のアンケートでもほとんどの学生が参加してよかったと答えていた。また、ワークショップの内容が良かった為、新入生の合宿研修を行うことに対しては殆どの参加教員が意義をみとめ、反対意見は少なくなった。

#### 3.1. 第1回目試行の主な反省点

このときの合宿研修はこのようにおおむね成功であったが、その後改善するべき点として、以下に述べるような課題を見つけることができた。

- ・離島で離れている場所であったので、船を使った移動にかなり時間をとられた。
- ・離島であったため、途中までの参加や途中からの参加が不可能であったので多くの教員が参加できなくなってしまった。
- ・帰りは天候が荒れたため船酔いする人が多く出てしまい、せっかくの良い思い出が最後で

台無しになってしまった。

- ・ワークショップの時間が長すぎたため、充実はしていたが、かなり疲れたという意見が多かった。
- ・二日目の午前中に3時間のビーチクリーニング+自由時間を設けたが、ビーチクリーニングがかなり早く終わってしまい、時間をかなり持て余してしまった。
- ・自由時間を有効に使えない学生が多かったので、レクリエーションを企画したほうが良かったのでは？という意見が出された。

### 4. 新しい合宿研修第2回目の試み

第2回目の試行は2008年5月17日、18日糸満青年の家にて本番を行った。その内容を表1に示す。第2回目の試行からは、教員側の負担軽減と、学生の体験活動機会の提供をねらい、学生による合宿研修の企画運営を目指すことになった。合宿研修に参加した経験のある1年次の学生に合宿研修を企画してもらい、その学生たちが2年次になった段階で新入生の合宿研修を運営する試みを行った。まず、2007年11月30日昼休み時間に最初のオリエンテーションを行い、次いで、翌年2年次になって企画運営を行う1年次学生に、自由科目、集中講義として授業登録を行ってもらい、週一回昼休み時間に集まって企画案作成の話し合いを行ってもらった。教員側からは、ふざけて遊びでかかわってくる学生を避けるために、厳しい対応を行った。その結果、軽い気持ちだけで参加してきた多くの学生が途中で抜けていき、最終的には、真剣にこの合宿研修にかかわる意思のある学生だけが残った。このような状況の中、合宿研修の企画の作成を殆ど学生に任せるようにして準備を進めていった。教員が事前準備で手伝ったのは、施設の予約、教育振興会からの予算の受理、会計、参加する新入生の名簿作成と班分けであった。合宿研修当日のスケジュールは学生が企画した。最終的なスケジュールはワークショップの時間8時間（前年度より+1時間）、野外炊飯2時間（前年度はなかった）、レクリエーションの時間4.5時間（前年度より+1.5時間）、の時間配分で

あった。前年の教員が企画した内容に比べて、レクリエーションの内容がかなり充実した。レクリエーションの内容も、先ず、アイスブレイキングに人間知恵の輪が選ばれ、参加した新入生同士が話しやすくなり、最後のレクリエーションは、5色綱引きでかなり盛り上がる、記憶に残る内容であった。ワークショップのテーマは、主に、制服問題、英語教育、いじめ問題等の教育の現代的課題が選ばれた。企画を行った側の2年次学生がファシリテーター役になった。ただ、学生が発表したワークショップの内容に関しては、教員から、物足りなさを感じるとの意見が多少あった。新入生合宿研修を学生が計画実施したものとしては初めてで、その試みの結果としてはかなり満足できる内容であったことをすべての合宿研修WG教員が認識するものであった。本番の時に教員が行った役割は、体調が悪くなった学生への対処、全員が退所する直前の各部屋の点検、学生実行委員会が気づいていない仕事のサポート、夜間見回り等であった。

#### 4.1. 第2回目試行合宿研修の反省点

第2回目の試行は大成功に終わったと認識できるものではあったが、以下に述べる、若干の課題が見られた。

- ・企画を立案した学生たちは、周到な準備とシミュレーションを行っていたにも関わらず、合宿研修当日になって、人手不足になっていた個所がかなりあって、学生自身がその部分を気づいて補うことがなかなかできずに、結局、教員がかなりの部分をフォローする結果となった。
- ・ワークショップのテーマである教育の様々な現代的課題について、新入生の理解と認識では、深い話し合いをすることはなかなかできずかなり表面的な話し合いになってしまっていた。
- ・ファシリテーターの役割がよくわかっていなくて、教師が熱く一方的に語るシーンがたびたび見られた（この反省点は前年と変わらず）
- ・学生委員は、合宿研修の前日に夜遅くまで準備を進めていたため、一日目の夜は、全員疲

れてすぐに眠ってしまっていた。夜中、消灯時間を過ぎてから部屋を抜け出して施設周辺を徘徊する学生がいたため、教員が夜中2時過ぎまで見回り指導を行った。

#### 5. 2009年5月29日、30日、3回目の試行

3回目の試行は2009年5月29日、30日に糸満青年の家にて本番の合宿研修を行った。この時のプログラムの内容を表1に示す。

この時の最初のオリエンテーションは、2009年2月4日12:00~12:25。前回の学生合宿研修委員のメンバーが殆ど全員集まって、合宿研修の企画側の体験談と仕事の内容を説明した。2月10日12:00から、合宿研修委員への参加を決めた学生が集まり、教員側から、これからの企画の進め方などを説明。前回委員の2年次学生が、前回の企画資料と反省点を整理した資料を配布して説明した。次回以降毎週火曜日お昼時間に集まることを決定。

2月17日御昼休み時間、学生企画の各係の役割分担と、委員長、副委員長、書記を決定した。以後、ほぼ学生委員の自主的活動に任せるようにして企画検討を行っていった。

この時の合宿研修では、将来の合宿研修の運営にかかわる教員の負担を軽減して継続的な実施が行えるように、"なるべく殆どの運営を学生が行えるようにすること"を目標とした。教員側から学生に実施をお願いしたのは以下の4点である。

- ①プログラム内容に教育的に意味のある内容を盛り込むこと、
  - ②学生実行委員で夜間見回りを実施すること、
  - ③平和記念公園の見学をプログラムに挿入してもらうこと、
  - ④なるべく本番の時には教員の手を借りずに学生実行委員で全ての仕事をこなすことを提案した。
- ②、③、④は、実施する学生の理解を得られ、ほぼ、こちらの提案が満足される実施が行われた。④に関しては、教員側で当日に行ったのは、体調が崩れた学生への対処の手助けおよび、病院や自宅への送り、施設側との時間調整、施設



図 1 ワークショップでの話し合い



図 3 新入生創作の演芸発表



図 2 フォークダンス



図 4 2年次学生による平和学習ガイド

への利用料と食事代の支払いといったもののみで、その他の仕事は全て学生実行委員が行った。目標の一つ目はほぼ成功した。①に関しては、表1の過去3回の合宿研修のレクリエーションと教育的活動（ワークショップ、平和学習）の時間配分の変化からわかるとおり、レクリエーションの時間配分が大幅に増加する結果となった。

これについては、今後に向けて課題を残す結果となった。

一方、学生の側からは、彼らが改善すべきと思った部分を変更して、今回の合宿研修の企画に臨んでいた。以下に、学生が試みた修正の内容を挙げる。

#### <<廃止したこと>>

- ・各チームごとの総合得点集計の廃止（前回はこれに時間がかかっていた）
- ・飯盒炊飯の廃止（季節的に雨が多かったため）

<<第3回目の試行で改善したこと、初めて実

施したこと、変更したこと>>

- ・前年度のバスレクより面白くする
- ・フォークダンス（図2）
- ・新入生の各グループによる演芸大会（図3）
- ・平和記念公園での野外学習、学生と教員による平和学習ガイド（図4）
- ・学生実行委員での夜間見回り
- ・ワークショップ課題の事前連絡と本番当日の時間短縮（本番当日の時間8時間⇒3時間）
- ・レクリエーション時間の大幅増
- ・学生実行委員会による演芸大会の審査と表彰

今回の合宿研修に参加した新入生の満足度を調べるために行ったアンケート調査の結果を図5、図6に示す。この結果を見る限り、殆どの新入生が、この合宿研修に満足している状況であるので、次回も多くの新入生がこの研修に参加することが期待できるものと考えられる。

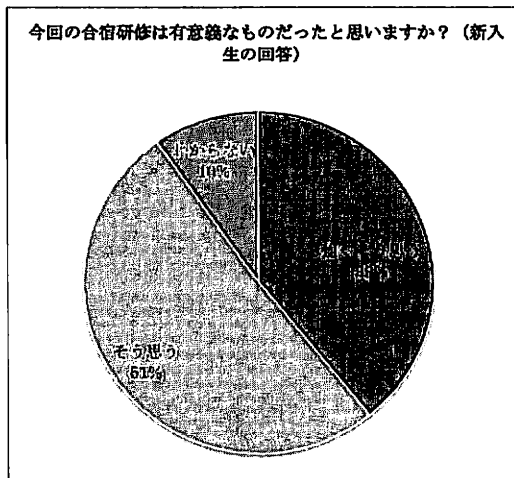


図 5 新入生からみた今回の合宿研修の満足度

### 5.1. 第3回目試行のアンケート調査結果

第3回目の教育学部新入生合宿研修のアンケート調査結果を図7に示す。また、この報告書の末尾に、このアンケート調査を行った際に、新入生、2年次学生、参加教員、教育学部教員から寄せられたコメントを紹介する。

アンケート調査の結果、2年次スタッフの協調性、積極性、統率力、働きに関しては、かなり高い評価が得られている。また、今回の合宿研修が新入生のオリエンテーションとしてふさわしいものであるかどうかについては、若干の参加教員をのぞく殆どの参加教員が高評価を与えている。また、今回の合宿研修が新入生に良い影響を与えた有意義なものであったかどうかについては、参加した全ての教員が良い評価を与えている。

### 5.2. アンケートからわかった合宿研修の反省点

合宿研修全体、ワークショップ、レクリエーションのスケジュール、時間配分、内容に関しては、このアンケート調査結果から、今後、修正や調整が必要であることがうかがえる。アンケートに寄せられた教員のコメントから、レクリエーションの時間が長すぎ、ワークショップの時間が短すぎたために、この部分の教員からの評価が低くなったことがうかがえる。

今回の合宿研修においては、なるべく、普段

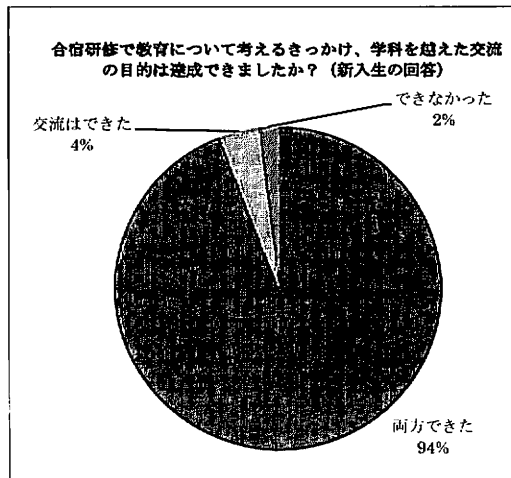


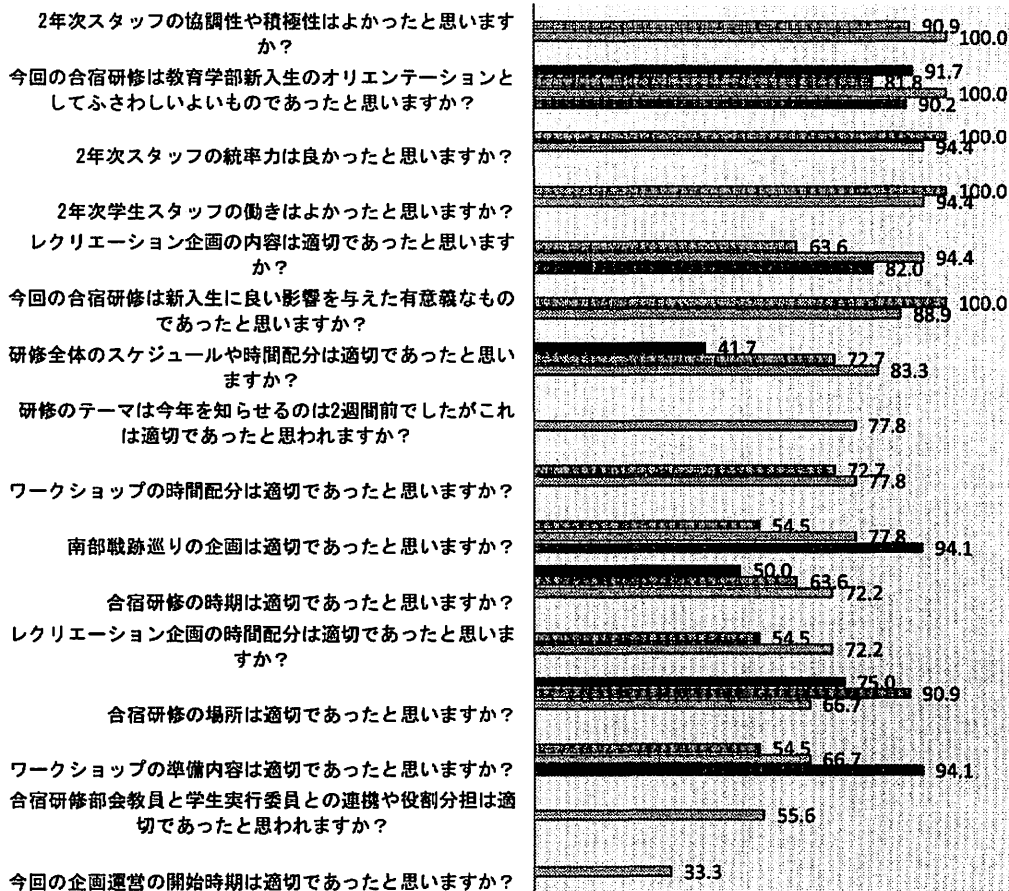
図 6 新入生から見た、今回の合宿研修の目的達成

大学では体験できないことに多くの時間を費やしたいという考え方から、ワークショップの課題を合宿研修の2週間前に新入生に伝え、宿題として調べてもらうことで、合宿研修当日のワークショップの時間を短縮する試みが行われたが、それによって話し合いはそれほどスムーズには進んではなく、あらかじめ調べた学生と調べなかった学生の差が開いてしまったりと、期待していたほど良い結果にはならなかった。また、このことが、遊びの部分が増えたと参加教員から見えてしまう結果にもなった。今回のワークショップの課題として、制服問題、モンスターペアレント、ADHD、英語教育等の現代の教育的課題を話し合ったが、これらの課題が、深い理解を要するもので、短期の事前準備では深い話し合いになりにくいことが、参加教員のコメントなどから判明した。今回、企画を作成する学生の召集の時期が遅くなってしまい、十分な話し合いや準備ができにくかった為、企画運営の時期の適切さに関しては、2年次学生がかなり低い評価をする結果となった。

また、合宿研修の準備段階での学生と教員の連携や役割分担に関しても2年次教員が低い評価を与えている。今回の準備では、学生同士および学生と教員の話し合いは、週一回の御昼休み時間に行ったが、時間が短すぎたために、学生は、殆どの話し合いを学外で夜の時間帯に行ない、昼の時間帯に承認を求める手順で話し合い

## 教育学部新入生合宿研修アンケート結果 (良い評価を与えた割合)

■ 教育学部教員12人中    □ 参加教員11人中    ▨ 2年次18人中    ▩ 1年次51人中



を進めていたため、夜の時間帯での話し合いに参加できなかった学生と教員とのコミュニケーションが十分にとれず本番の合宿研修を迎える結果になってしまった。今回の新入生合宿研修は、準備段階での時間のとり方と話し合いの進め方に関して大きな課題を残す結果になった。以下に、この合宿研修のアンケートで回答していただいたコメントを挙げる。

※※※参加した一年次学生のコメント※※※  
<<平和の礎での平和学習に関しての意見>>  
大切な事だとは分かっているけど興味がないの

で、やはり、つまらなかったではあります  
つかれた時間帯に学習しなければいけないので  
少し不満がありました。

良いと思う、けど、知っていることをいわれて  
もってかんじでした

内容はよかった。一日目の午前中に行ったほう  
がよい。

知っているようでしなかったことがわかった  
時間が短すぎると思いました。もっと時間をとっ  
てちゃんと説明すべきだと思います。

小・中・高通して今までも平和学習をしてきた  
けれど改めて平和について考えることもできた



し、新しく知る事もあった。やって良かったです。  
せかされているような雰囲気があった。もう少しゆったりと学習したい。

### <<演芸大会>>

今年がはじめてのようですが、以外と盛りあがって楽しかったです。合宿前に練習して団結力(?)も高まるので続けていいと思います  
仲良くなるきっかけができて良かったです。  
練習を通してだいぶグループの人と話ができた。  
本番の時間配分が時間不足であった。  
準備時間とかが少なく、全然練習とかできなかったで無くしたほうがいいと思いました。  
長かったです  
準備期間が短かったです  
けっこう準備期間が短くてみんなが集まる事が出来なかったです

### <<フォークダンス>>

すごく楽しかったが、少しくどいようにも思えた。  
疲れました。改善点は特になくと思います  
やってもやらなくてもどっちでもよかった。  
ふつー、時間を決めてほしかった。  
フォークダンスはビミョーでした  
もっとちゃんとダンスを教えてほしかった。ぐだぐだだった。できれば夜にやりたかった。  
長かった。  
時間が少し長いかなあと思いました。  
時間が長すぎたと思います。2周ぐらいでよかったです。  
昼からのフォークダンスは微妙だった。あとずっと同じ曲はあんまり楽しくなかった。  
暑かったのもう少し時間短縮したほうがいいと思う  
びみょー。  
踊りにくい曲で踊るのは微妙だったし、長くて疲れた、一周ぐらいでよかった

### <<レク(バスレク、ジェスチャー、大綱、借り物競走)>>

ジェスチャーの種類が少ない  
バスレク→あまりよくない、ジェスチャー→2回やったのはまちがいで、借り物競走→。。  
全体的によかったけれど、ジェスチャーや大綱は以外に時間が余ってしまうところとかがぐだぐだだった。  
バスの中では眠りたかったです  
バスレク、大綱は微妙でした  
ジェスチャーの課題が少なかったです  
ジェスチャーのお題の使いまわしはあまり良くない  
もっと楽しかったと思う

### <<ワークショップ>>

班の話し合いが熱くなっていったので時間がたりなかった。もう少し時間がほしかったです。  
まとめる時間が足りなかったです

### <<その他の意見>>

先生方ももう少し絡んでみたかったです  
教育に関しての話し合いは、みんな熱く語るなあと感心しました。  
遊べたから楽しかった  
合宿は、その日だけでなくおわってから交流が続くような友達を見つけられてすごく楽しかったです。  
特になし、レクはなくてもいいかも

※※2年次合宿研修委員のアンケート回答※※  
教育学部の一年生と仲良くなることができて良かった  
また、教員を目指す学生として、行事の企画・運営に最初から携わることができて良かった。  
楽しませる企画・行事はできたが、研修の時間が短かった。  
・また、下調べが浅く、ファシリテーターとして不十分であった。  
気配りがあまりできず、注意はいつも3年生がやってくれてたかも  
平和学習の下調べ、事前準備が甘かった。  
自主的に行動する心持ち、取り組みができた、一年生を指導するような取り組みを体験するこ

とで、「指揮する」といった経験もでき、自信にもなった。次を考えて行動することができた。次の行動や取り組みができるように一年生を指導する時、思うようにはきはきとできなかった。話し合いの時に積極的に意見をいえなかった。本番の研修のときにすることがあまりなかった誰かがやるかなーっていうか、自分がいなくても話は進むかなーみたいな気持ちのゆるさがありました。

担当していた班の一年の女子がなじめずに途中で帰ってしまったということなので、そういう子への実行委員の配慮や対処はどうすればよかったのか？

企画作成能力の向上、運営していくことの難しさを実感、統率していく力の向上。

仕事の負担が一部の人に偏っていた。少し浮かれすぎていた気がする、リーダーとして自覚が少し足りなかった。

企画することの難しさややりがいを知ることができて、参加してとても良かったとおもいます。自分たちで企画したもので、新一年生の子たちが楽しんでくれたのがとてもうれしかったです。スケジュールの組み方や時間配分がまだまだ不十分だと思いました。

統率する側に回ってみて、色んな事（やっていい事、いけない事）を学べた。

仲が良すぎて、一部、新入生をほったらかす場面があった。

案が何度もダメになったり「難儀だなあ」と思うこともあったけど、当日一年次が楽しんでくれたみたいでとても嬉しい。各班これをきっかけに集まった話も聞いたのでよかったと思う。他学科に友人ができた。普段ではできない体験をすることができた

自分が引率する立場としての責任感もててきた

自分のことばかりを考えて一年生のことをあまり考えていない場面がよく見られた

※※※※ 参加教員からのコメント ※※※※  
一日目はOK,二日目の発表会は盛り上がったけど時間配分が不十分だった。

発表を同じテーマ4つの班でする方が良いと思う

2年次スタッフが良く頑張っていた。昨年より後輩へ良い伝統が受け継がれているように思います。

学芸発表会的になってしまったが、これで良いのだろうかという課題が残った。

集団行動が苦手な人にはきついところもありそう

ワークショップはもう少し具体的な検討事項が入っていると良いと思います（議論が抽象的になりがちでした）。

研修は与えられたテーマについて考えるきっかけを作る点で有意義と思いました。

まとめた内容より途中の議論で考えたことが今後役に立つだろう。

前半は気楽な発言が続いたが、だんだんテーマ（モンスターペアレント）を自分の問題と捉えて、後半は黙って考え込む場面が多く、印象的だった。

全体的に準備、運営がとてもよくなされていると感じました。

2回の説明会により、各班内の親和力、チーム凝集性は高いと感じた。説明会に参加していなかった学生へのCATSの心配りに感謝したい。

2年次CATSのリーダーシップはお見事でした。1年間での成長ぶりを見ることができました。

いい教師になるための資質向上のための研修の機会としてこの合宿研修を改めて見直すことができました。

1年次諸君は自由に意見を交換し合い、他者とのコミュニケーションを各プログラムを通して行っていました。コミュニケーション能力向上のためにこの合宿研修は必要だと考えます。

指導教員の先生方は、CATSのリーダーシップを補助し、一年次の健康と安全面への指導と配慮をいただき感謝したい。

学部主導、学生主導、明確にすべきでは4月～5月上旬が望ましい

レクリエーションは予備案の必要性を感じました

ADHDについては専門性が高く、明らかに準備

不足を感じました。

もう少し早くGW前後の方が良いのでは（導入研修なので早い方が良い）

研修全体のスケジュールは少し時間に余裕がありすぎたように感じる。

ワークショップはもう少し時間が長い方がよい。良く計画されていたが、当日は不測の事態が起きるので、事前にもう少し運営に関する対応マニュアルを作成しておいた方が良いと感じた。2年次スタッフが主体的で頼もしかった。

大学生活に慣れ、友人を作ることが目的であれば研修内容は適切であると思います。しかし、この場合は、もう少し時期が早い（1ヶ月ぐらい）方が良いのではないのでしょうか。

ワークショップが中心目的の研修の場合は、時期は適当ですが、ワークショップの時間が少し短すぎます。発表は二日目にするのはどうでしょうか。（余った時間をワークショップの話し合いに使えます）

今回の合宿研修は、遊びが多すぎ、新入生のオリエンテーションとしてふさわしいものとは思えない。

もっと早い時期が良い

個人的には離島が良いと思う。

2日目のイベントの時間配分に問題があった。

学生に内容を考えさせるのは良いが、適切な修正は必要であろう。ハンゴウ炊飯や物造り等長く時間をかけた共同作業などが良いと思う。

遊びの要素が強すぎる気はしたがオリエンテーションとしてはふさわしい。

ワークショップの進行役の学生は頑張っていたけれどももう少し準備があればなお良いと思います。

気持よく2日間を過ごせたのはCATSのおかげです

南部戦跡巡りの企画は特に本土出身の学生には良い機会だと思います。

私が担任をしている学科の1年次は全体に大人しいのですが、彼らの笑顔がみられてうれしかったです。

研修についてはできれば4つのテーマごとに最終発表をし、自分たちのプレゼン内容を見つめ

なおす機会を持ち、かつその専門の先生の講評を聞くという形式が良いかと。

ワークショップは候補のテーマがあり、学生のグループが選択したということでそのあたりが分からないが、教育に関するテーマをもう少し広く拾い上げた方が良い。理科系の教員としては「環境教育」があってもよい。

教員用と学生配布とでスケジュールの時間が異なる。教員スタッフと学生スタッフの間での確認が必要。

研修の場として体育館は不適、ほとんど聞こえない場合があった。「研修室」を使うなり、屋外に出てグループごとに行うなど工夫が必要。又、せっかくの成果なので全ての発表を聞きたかった。（同一テーマの発表もあり、比較が可能）

可能ならもう少し早い方が良かった。沖縄島嶼でかたまってもちベーションが下がってしまったため、欠席が多数出た。

平和学習が導入されたことは良かった。できれば施設内にFWとかできた方が良いと思う。Etc 石川と玉城の野外

全体のスケジュールはゆとりがあってよかったです。学生も間延びせず良かったと思う。

演芸発表は学生が準備に時間をかけることには賛成できない。講義などのからみもあるので、事前は軽くしたい。

レクは、グループで楽しめるものを選択できていたと思う。

ワークショップは内容的深まりをのぞけばあれでいいが、もう少し語り合う、吟味する時間を大事にするなら時間不足だと思う。

ワークショップは、テーマの必然性を考えた方がよい。準備したこと（ネットで調べたこと）以上の見解が出ないものは、深める題材として適切かの検討が必要だと思う。

どうやったら人が動くのかを体験的に学ぶ場であって、それを発揮する場にはならなかったかなと思う。でも2年が頑張った事の意味は大きいと思う。

2年次スタッフが自分たちだけで盛り上がる場面は気になった。

南部戦跡巡りは、学生が説明したことが良かった。

今後つくるうえで、技術的な問題はいいのですが、目標（新入生にどうなってほしい、何を考えて行動してほしいか）から一歩深めて企画作りをできるといいなと思います。講義としての位置づけと学生の自主性のバランスに悩む部分もありますが、...

オリエンテーションの意味を考えると、もう少し早い時期、遅くともゴールデンウイークまでには行った方が良いのではないかと。

レクリエーションの割合が多すぎるように感じました。

ワークショップはもう少し時間をとっても良かったように思われた。

ワークショップの準備内容は班によってかなり差があったので、その点の配慮はもう少しあった方が良いのではないかと。

南部戦跡巡りの企画そのものは良かったが、時間的に厳しかった。レクリエーションを削ってもう少し余裕をもって行った方が適切ではなかっただろうか。

2年次学生スタッフは積極的に良くやっていたが、ときどき、サークル的な、ノリが見られたのが心配になった。おそらく自由意思でスタッフになっているため、もともと仲の良い学生と一緒に参加しているケースが多いのではないだろうか。その意味では、むしろスタッフを各専修・コースに割り当てて選出することも考える必要があるかもしれない。

演芸発表は、非常に見ごたえのあるものもあり、感心したが、一方であまり力が入りすぎると新入生には負担が大きいの、行きすぎないように注意して見ておく必要があるように感じた。

※※※※ 学部教員からのコメント ※※※※  
あまりキツイ内容もどうかと思うけれども、今回は遊びの部分が強すぎた気がする。

もう少し早い時期にしてもよいか、..、でも難しいですね。金～土の一泊二日はベスト。土～日では翌週きついで。

今回の研修場所は、学生にとってはどうかわか

らないが、教員にとっては負担がさほどかからない、...

ワークショップで、教員およびグループに配置される2年次学生がどのような役割を担うのかを明確にし、それなりの事前打ち合わせや事前指導、事前確認をしていただきたいです。(...と個人的には思うのですが、面倒だと思う先生もおいででしょうね。)

あと、今年度のように諸専修・コースから集まった学生グループに一人の教員を配置するのであれば学生作成のパンフレットとは別に、所属と連絡先を記載した名簿を配布したほうがよいのでは？

レクの時間が長すぎ、ワークショップが短すぎ。もっと早い時期にするべき。

2年次学生にもっと自覚を持たせるような指導を行うべき。

無理ないスケジュールを組むのが良い。

あまり欲張ることなく、現在のプログラムを継続する方が良いと思います。

学生主体（実行委員主体）の体制が少しずつ確立して来たように思います。今後もこの方向を続けてください。

4月中に実施がベストだと思います。

研修場所はトラブルが多かったので次回からは変えた方が良いと思います。

学科オリエンテーションを追加できる。

平和を学ぶというのはいいと思った。2年次による説明も。ただし、集中力のある一日目に持ってくる方が良く、説明はもう少し丁寧な方が良いと思います。

この企画をやる意義がわかりませんし、なにか効果があるのか不明です。

平日の金曜日を使うことは一日分授業を休むことになっている。引率の教員も金曜日を休講にしている。(しなくて授業をしてから参加した教員もいるそう)できれば土、日にした方が良いのでは、その場合、日曜日は一時頃までであろう。

今回の研修場所は距離から言うところとちょうどよい(疏大からバスで2時間)施設の中も悪くはなかった。ただ、体育館の使用時間は延長できず

困る事もあった。

参加人数が多く、グループの数も多いので、内容を多くするのはよくない。

2日目の寸劇は良かったと、学生、教官に好評でした。

二日目の平和学習はよかった。

体を動かすゲームが多い。(ドタバタして疲れてしまった)。

もう少しお互いを知り合える内容を盛り込むべきである。

例えば、バスの中でやっていた自己紹介はバスの席に座ったままでは顔も見えず名前もはっきり覚えられなかった。

到着後、いくつかの班を組み合わせて、輪になってすわってお互いの顔や体つき等をみながらゆったりと時間をとってした方が良く知りあえる。学部主体で行うのか、学生主体で行うのか線引き、あるいは分担を明確にすべきとかがえまず。

(一年生のオリエンテーション主眼のはずが、

2次的効果として上級生が主体となる事のメリットを期待しているように見えます。それはそれでよいことではありますが、分担など明確にすることは大切だと考えます。

教員の負担、講義のやりくりなどの問題がある。学生にも教員にも意味があって負担が少ないものに変えるべきではないか？

## 謝辞

今回の合宿研修の準備に多大な協力をいただいた教育学部2年次の学生、教員方および、今回の合宿研修に参加協力していただいた2009年度教育学部の1年次指導教員のみなさま、新入生の参加学生の皆様、多くの貴重なコメントを提供していただいた諸先生方に感謝いたします。

今回の合宿研修は、琉球大学教育学部教育振興会より資金援助をいただいたことで参加学生の負担が少ない形で有意義な合宿研修の実施が行えたことを感謝いたします。